



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同

# リレーエッセイ

澤田 岬希 | 営業部直販課



ベアレンのマドンナこと聡子さんよりパトンをいただきます！3回目となるリレーエッセイ、過去「カッブラーメン」「フライドポテト」と私のジャンクな食の好みにお付き合いいただきましたが、今回も好きな食べ物シリーズ「プレッツェル」のお話です。きっかけは2年前のドイツ研修。ミュンヘンのビアホール「ホフブロイハウス」で、顔よりも大きな「プレッツェル」に出会いました。あの独特の麦の香りと周りの塩の粒が、ビールに驚くほど合うのです。その時から私のビールに合うおつまみランキング1位は「プレッツェル」です。以来、盛岡でもあの味を



求めて彷徨っています。探すのは意外と困難。冷凍輸入品はあっても、パン屋さんで手作りされているケースは盛岡では非常に稀。まだ1軒しか見つけられておりません。いよいよ手作りするしか無いのか…と材料を揃えましたが、なかなか手がつかず、耳寄りな情報をお持ちの方がいらつしやいましたら、ぜひ教えていただけると嬉しいです。余談ですが月1回の「Konno」生配信「ベアレンオンベア」もやっております。画面越しに皆さまとお会いできるのを楽しみにしています！「プレッツェル情報も！」

今回はこのプレッツェルとのツーショットがチャーミングな鳥田さん！どうかお願いいたします！

# 今月の新製品

菅原 奈々 | 総務部



今月は、製造困難で世界的にも幻とされる、南ドイツ伝統の「ライ麦ビール」をご紹介します。本商品は、酵母由来の白い濁りが生む、ライ麦パンを思わせる芳醇な香り、麦芽のほのかな酸味が特徴です。とるみすら感じる独特の口当たりは、このピアスタイルならではの特別な体験で、ライ麦に含まれる「βグルカン」に由来します。麦芽を煮込むと粘度が増しドロドロになるため、効率を求めた近代の醸造機器ではる過が困難です。しかし、弊社は昔ながらの設備を使用し、職人の技術と日頃の手作業の積み重ねによる勘で、この問題をクリアしています。皆さまもぜひ、お試しください！

今月の一枚

この度、石川啄木生誕140周年記念ビール「一握のセゾン」の発売報告のため、盛岡市長を表敬訪問いたしました。日記に記されたビールとみかんの組み合わせを現代に再解釈した一本です。啄木の歩みに想いを馳せながら味わってください。

# 女性課長2名誕生

鳥田 洋一 | 代表取締役社長



鳥田 洋一 井上 菜々美 山崎 瑠佳

新課長、山崎瑠佳と井上菜々美を囲んで、ベアレンのこれからのリーダー像について話しました。

**鳥** 先日の面談者研修と鳥田塾、これらを通してリーダー像はイメージできたでしょうか？

**瑠** 私が最初に思っていたような、みんなを引っ張っていくような感じを期待されているのではないことが分かりました。

**菜** リーダーって先頭に立ってみんなを奮い立たせるイメージがありました。どちらかというと寄り添うというのか？そんなことを求められているのかもと思いました。

**鳥** がむしろに働くというのは、

これからの時代に合わない。働ける時間が違っても各々が活躍できる場づくりが大事。リーダーはついてこいではなく、みんなでつくるチームに変わらなければならない。一人ひとりに合う関わり方を整えるのがリーダーの役割。リーダーが完璧でなくても周囲がフォローすればいいが、信頼関係がないとうまくいかない。その関係はどのように築かれると思う？

**菜** お互いさまというか、私も相手信頼するし相手からも信頼される、そんな関係は大事だと思います。

**鳥** 家庭や友人とでも信頼関係は大事。そこで何か意識していることは？

**瑠** よく話して、コミュニケーションをとりたいです。

**菜** 伝えるべきことは伝えなきゃいけない、メリハリですかね。雑談も大事だし共有し合いたいです。

**鳥** リーダーは約束を守ることが大事。有言実行、そ

れだけで信頼は生まれて組織もまとまる。また、抱え込む必要はなく自分のスタイルで関係を整えて、周りに頼るのも大事。リーダーに向かうかどうかは自分以上に周囲が見ているもの。役割分担して各々が力を発揮すればいい。誰もが挑戦できる場を作っていければと思う。では最後にお二人から。

**瑠** お客様と直接接することの多い直販課としてはいつも笑顔でいたいですし、そのためには心のゆとりも大切で、そのゆとりをみんなが少しでも作ることができると、寄り添っていきたいと思います。

**菜** 引き継いで覚える仕事があるので最初は手一杯かもしれませんが、業務を見直す機会にもなると思います。私からお願ひすることもあると思いますが、そんな声かけや安心できる雰囲気、忙しいときこそそういう存在になりたいです。

各アカウント一覧はこちら↓



# 編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

「春の足音が聞こえる」と言いたいところですが、実際はまだ分厚いダウンコートが手放せません。それでも気分は一足先に春爛漫！忙しい年度末、プシュッと開ける一本が何よりのエネルギーチャージになります。今月もベアレンを相棒に、新しい季節への助走を一緒に楽しみましょう！

# ベアレン年度末大感謝祭 in 盛岡八幡宮

吉田 仁紀 | 営業部直販課



2月15日、盛岡八幡宮にて「ベアレン年度末大感謝祭 in 盛岡八幡宮」を開催いたしました。日頃からベアレンビールをご愛顧いただき、応援して下さる皆さま、誠にありがとうございます。足運んでくださった皆さま、本当にありがとうございました！

声があふれる、まさに『感謝祭』にふさわしい一日となりました。そして今回の目玉のひとつが『くす玉』。なんと…ようやく！きれいに割れました！「三度目の正直」という言葉どおり、三回目の挑戦にしてついに成功。20周年記念パーティーから始まり、昨年の感謝祭では惜しくも割れず、因縁の存在となっていたあのくす玉。スタツフの間では半ば伝説となりつつありましたが、今回ついにその殻を破りました。くす玉が勢いよく開いた瞬間、会場からは大きな拍手と歓声が沸き起こり、思わず「やっつとだ〜!!」と叫びたくなるほどの感動。汗と涙の結晶？とも言えるくす玉が割れた瞬間は間違いなくこの日一番のハイライトでした。中から現れたのは「笑門来福くす玉ベアレンビール」の文字。まさにこの感謝祭にぴったりの言葉です。ベア

レンビールが皆さまの楽しい時間や大切なひとときに寄り添えていることを改めて実感し、私たちにとつても忘れられない一日となりました。さらに、当日は鏡割りも行い、会場の一体感は最高潮に。木槌の音とともに広がる歓声、そして皆で交わす乾杯。改めて「ビールは人と人をつなぐ飲みもの」だと感じる瞬間でした。

しかし、感謝祭はゴールではありません。これから新たなスタートです！3月15日には「三陸鉄道ベアレン飲み放題列車」、4月には日本橋高島屋で開催される「日本橋高島屋大いわて展」への出店、そして「材木町よ市」の開幕。さらに、5月の連休には「ベアレンスプリングフェスト2026」も開催予定と、イベント盛りだくさん！皆さまとまた各地で乾杯できる日を楽しみに、ベアレンは今年も一年、走り続けます！

# わたしとベアレン

投稿者 | 加藤真衣さま

昨年夏、ご縁があって工場、直営店にお邪魔しました。猛暑の中、案内していただきありがとうございました。それ以来、ベアレンビールで乾杯することが増え、家庭は益々ハッピーになっていきます。ビールが繋いでくれたご縁、ビールが与えてくれたハピネスに日々感謝です。これぞまさに、つなぐビール。そして、「つなぐビール」の本はわたしのバイブルです。何回も読み返しています。本を読んでからビールを飲むとより一層、美味しさと感動が増します。2026年のベアレンも楽しみです！またお会いできることを願っています。

皆さんとベアレンとの思い出を教えてください！ご応募、お待ちしております！



↑応募はこちら

# レストラン便り

今野 克伸 | 菜園マイクロブルワリー

こんにちは。盛岡の雪もようやく落ち着き、街に路面が戻ってきました。季節の移ろいを感じるこの時期、菜園マイクロブルワリーで毎月開催している「菜園ビール会」についてご紹介いたします。

本会はこれまで27回を重ね、まもなく19回目に入ります。毎回20〜30名規模で開催しており、お一人で参加される方も多

のが特徴です。初参加でも自然と輪に溶け込める雰囲気があり、継続的にご参加くださる方も少なくありません。毎月テーマを設け、ビール初心者でも理解しやすく、愛好家の方にも新たな発見がある内容を心がけています。ベアレンのビールに加え、海外の銘柄も取り上げながら、香りや味わいの違い、背景にある歴史や文化まで掘り下げます。流行のスタイルを紹介する一方で、伝統的な製法や古典的な銘柄に立ち返る回も設け、ビールの本質的な魅力を共有

しています。料理はフレンチ出身の渡邊シェフが県産食材を用いて構成します。単なるおつまみではなく、ビールとの相性を緻密に考えた内容で、味わいの相乗効果も体験していただけます。また、参加者同士の交流も本会の大きな価値です。肩肘張らずに語り合える場として、「新しい飲み仲間」との出会いが自然に生まれています。

開催は毎月第3水曜日、予約制です。店内のご案内のほか、FacebookやグループLINEでも情報を発信しております。ご関心のある方は、ぜひ一度体験してみてください。皆さまのご参加をお待ちしております。



# 笑熊会活動報告

齋藤 創 | 営業部流通課

2月17日、ホテルロイヤル盛岡にて「春の家族会」を開催いたしました。家族会は毎年春と秋にベアレンスタツフとその家族が一堂に会する恒例行事です。今年も総勢94名が参加し、終勢賑やかなひとときとなりました。

開会後には、今年入社した社員と新人賞受賞者、そして子どもたちがステージに登壇し、全員で力を合わせてくす玉を割りました。色とりどりのテープが舞い上がると、大きな歓声と拍手が沸き起こり、会場の一体感も一気に高まります。乾杯の後はホテル特製のお料理と自慢のビールを囲みながらの会食。普段は部署が異なり顔を合わせる機会の少ない社員同士も、お酒が入ることでリラックスした空気の中、ご家族も交えて会話が弾み、あちこちのテーブルで笑い声が広がりました。ベアレン大きく引



き大会では、景品発表のたびに歓声が上がリ、大人も子どもも夢中に。さらに後半には子どもたちがステージに上がり、子どもカラオケ大会が自然に始まり、元気いっぱい歌声で会場を笑顔に包み込みました。日々のビールづくりを支えてくれる家族への感謝の気持ちを改めて感じる機会となり、来年度に向けて仲間とのさらなる団結力も生まれたのではないのでしょうか。今後も笑熊会では楽しい企画を予定していますので、ぜひご期待ください！